

指定管理者制度活用事業 評価シート(老人デイサービスセンター)

1. 基本事項

施設名称	川崎市井田老人デイサービスセンター	評価対象年度	平成26年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人和楽会 ・代表者名 理事長 清水 勤 ・住所 川崎市高津区千年141-2	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

2. 事業実績

利用実績	①通所介護事業(通所定員 40人/日) 年間延べ利用者数 5,660人 : 定員に対する稼働率 55.2 %							
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	延べ利用者数	506	511	475	520	443	513	
	延べ利用者数	502	451	437	422	432	448	
収支実績	②居宅介護支援事業 給付管理者数(平成27年3月分)							
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計
	管理者数	35	29	16	8	11	25	124
サービス向上の取組	①通所介護事業 (収入)							
	介護料収入	52,718,596					(支出)	
	利用者等利用料収入	4,820,390					人件費	43,263,409
	その他の事業収入	726,851					事業費	7,888,287
	合計	58,265,837					事務費	9,273,011
							合計	60,424,707
							(収支差額)	▲ 2,158,870
	②居宅介護支援事業 (収入)							
	介護料収入	18,206,471					(支出)	
	利用者等利用料収入						人件費	14,495,297
	その他の事業収入	1,164,550					事業費	67,050
	合計	19,371,021					事務費	709,603
						合計	15,271,950	
						(収支差額)	4,099,071	
(収入)								
介護料収入	70,925,067					(支出)		
利用者等利用料収入	4,820,390					人件費	57,758,706	
その他の事業収入	1,891,401					事業費	7,955,337	
合計	77,636,858					事務費	9,982,614	
						合計	75,696,657	
						(収支差額)	1,940,201	
利用者、家族のニーズに応えられるよう、アンケート(満足度)調査を実施し、「非常に満足」及び「満足」について80%以上を目標にしていたが、結果として90%以上という結果を得ている。 また、「やや不満」及び「不満」の利用者、家族の意見等については、定例会議にて周知、共有を図りながら、対策を検討し、安心できる介護サービスの維持、利用者満足度の向上に努めるとともに、利用者、家族に結果の告示・報告を積極的に行っている。 市立井田病院に併設という環境を活かし、退院予定の段階での相談支援、スムーズな在宅生活への移行が図られるよう、井田病院地域医療部他関係事業所と密に連携しながら、必要な支援、迅速な対応を行っている。								

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
適正な業務実施	質の高いサービスの提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか	10	4	8
		利用者等への情報提供等は十分に行われているか			
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的に行っているか			
	健康管理	利用者の健康管理は適切に行われているか	10	4	8
感染症への対策は適切に行われているか					
(評価の理由) パート職員の積極的な雇用等に取り組むことにより、介護職員の必要な支援への重点化を図るなど、効果的な配置の見直しに取り組んでいる。 ケアマネージャーからの依頼に基づき、共通帳票を元に訪問し、通所介護計画書を作成、利用者や家族のニーズに見合ったサービスの提供に取り組んでいる。 地域の中学生の体験学習の場として、ボランティア活動の場の提供や様々な活動や交流の場として協力している。 利用者の健康管理については、デイサービスセンター到着時に体温、血圧、脈拍等のバイタルチェックを行い、利用時に持参してもらう連絡帳により、自宅での様子や健康状態を看護職員が把握。状態の変化がある場合は、家族、医療機関に迅速に連絡し、対応。また、入浴時に看護師、介護職員による皮膚観察(疥癬等の伝染予防)を行い、異常がある時は、井田病院に繋げている。					

収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4	
		支出に見合う効果は得られているか				
		効率的な執行等、経費縮減の具体的な取組は為されたか				
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	3	3	
		収入増加のための具体的な取組が為されているか				
	適切な金銭管理・会計手続	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <p>人件費の占める割合が高いことから、今後、正職員とパートの比率を考慮する必要がある。この点においては、来年度に向けた人事異動等による職員配置において考慮した計画を策定し対応を予定している。</p> <p>急きょ、産休に入った職員が出たので人材派遣を利用して職員補充の対応を行っている。</p> <p>経費縮減については、使わない蛍光灯の取り外し、機械浴・中間浴などは小まめなメンテナンスを実施し、使用年数延長へ取組を進めている。</p>						
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8	
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか				
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のための取り組みがなされているか	10	4	8	
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか				
	利用者の意見・要望への対応	業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか	10	4	8	
		利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか				
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)				
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
	<p>(評価の理由)</p> <p>和楽会がISOを基に作成した各部署の事業計画に従い運営を行っている。</p> <p>具体的には、カンファレンスの実施、ケアプランの見直し、満足度調査の実施、及び結果の公表、介護職員の資格取得等の項目を設定。</p> <p>居宅介護支援事業所に空き情報を連絡するとともに、要支援者の受入れも積極的にやっている。また、機械浴槽を設置していることから、重度要介護者や医療依存度の高い利用者の積極的な受入れにも取り組んでいる。</p> <p>現状分析・課題把握・改善策検討を行う体制として毎月法人全体の運営会議を行い、各部署の問題や課題、前月との比較等を行うことにより法人全体での課題把握・各部署間での協力的体制の確立に取り組んでいる。</p> <p>利用者等からの意見を事業・管理に反映させた具体的な取組として、送迎時間について常にルート、順番等を綿密に検討し、利用者や家族の負担にならないよう、可能な限り要望に答えるよう努めている。</p>					
	組織管理体制	適正な管理体制の構築	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか						
再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか						
担当者のスキルアップ		業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	10	3	6	
安全・安心への取組		事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4	
		事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か				
コンプライアンス		実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか。	5	3	3	
		法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか				
	個人情報の管理は適切に行われているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>法人全体で、コスト削減の観点から一般競争入札の導入等を図っている。</p> <p>毎月1回職員定例会を行い様々な事例検討等を行うとともに、接遇研修等の実施により利用者への対応の改善を常に意識している。</p> <p>事故防止に向けた取組としては、毎月定例会を行い事例検討等を行い、また、安全管理に係るマニュアルをISOを基に法人で作成し、マニュアルに沿った連絡、報告、再発防止に向けた事例検討に取り組んでいる。</p>						

適正な施設管理	施設・設備の保守管理、清掃、警備等	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	10	3	6
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
		設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
<p>(評価の理由) 市立井田病院に併設していることから、院内にある管理部門により、設備の保守、点検を実施。 また、入浴機器、厨房機器等については、当法人にて保守、点検を委託により適正に実施。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	72	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

重度の要介護者や医療依存度の高い利用者を積極的に受入れるために、様々な研修、事例検討等を行い体制整備に努めている。
また、市立井田病院に併設という環境を活かし、退院予定の段階での相談支援、スムーズな在宅生活への移行が図れるよう、井田病院地域医療部他関係事業所と密に連携しながら、必要な支援、迅速な対応にも取り組んでいる。
パート職員の積極的な雇用を図るとともに、介護職員の配置見直し、効果的な支援体制の確保に努めている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

指導事項等なし